

何度食べても飽きない餃子の誕生から7年  
「肉汁ジュワツ」提供した餃子 並べると地球4周半超！  
『肉汁餃子製作所 ダンダダン酒場』餃子提供3,000万個を突破

株式会社 NATTY SWANKY(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:井石裕二)が運営する「肉汁餃子製作所ダンダダン酒場」(<https://www.dandadan.jp/>)で提供する看板メニュー“肉汁焼餃子”の提供個数が2011年の調布店オープンから2018年10月末時点でトータル3,000万個を突破しました。



■7年で提供した餃子は地球4.8周分に！

「肉汁餃子製作所ダンダダン酒場」は、第1号店の調布店が2011年にオープンして7年になります。

当店は、餃子がラーメンの脇役ではなく、「お酒のおつまみ」でも「ご飯のおかず」でも主役になるよう、また「何度食べても飽きない餃子」にしたいという思いで「肉汁焼餃子」を開発しました。

オープンから7年の間、多くのお客様に当店の餃子を愛していただき、その結果2018年10月末までにお客様に提供した餃子は31,576,717個になり、1個6cmで換算すると約19万kmになりました。その長さは地球4.8周分になります。(1周4万km換算)



第1号店「肉汁餃子製作所ダンダダン酒場 調布店」

## ■「美味しい餃子が食べたいなあ」と思ったことが“肉汁焼餃子”誕生のきっかけに

当店舗の“肉汁焼餃子”は、元々餃子好きだった代表が「美味しい餃子が食べたい」と思ったことをきっかけに誕生しました。

当時、餃子は定食屋や中華料理屋、ラーメン屋、自宅の食卓で食べるなど幅広く楽しめるというイメージはありましたが、“餃子がメインの居酒屋”は、ありませんでした。

「メインメニューを“餃子”にするにはどうすれば良いか」を考え、1年がかりで現在の“肉汁焼餃子”を開発しました。餃子の餡はもちろんのこと、皮にも強くこだわり、材料の全粒粉の香り、餡の旨味と肉汁を閉じ込めながらも、重すぎないギリギリの厚さにするなど、何度も試作を繰り返してたどり着いた1品です。

2017年には餃子居酒屋ブームの火付け役として、外食アワードも受賞しました。

今では、当店の餃子を「日本の餃子」と言われることもありますが、当店の焼餃子はまさに日本生まれの日本食だと思っています。

今後も変わらず、多くのお客様に「何度食べても飽きない餃子」を楽しんでいただけるよう、より良い店づくりに努めてまいります。



### 【NATTY SWANKY 会社概要】

社名： 株式会社 NATTY SWANKY(ナッティースワンキー)

代表： 代表取締役社長 井石裕二

本社所在地： 東京都新宿区西新宿 1-19-8 新東京ビル7階

電話： 03-5909-3013

ホームページ： <https://nattyswanky.com/>(企業ウェブサイト)

<https://www.dandadan.jp/>(肉汁餃子製作所 ダンダダン酒場 ブランドサイト)

設立： 2001年8月1日

資本金： 1,340万円

従業員数： 1,100名(アルバイト含む 2018年9月現在)

事業内容： 飲食店(肉汁餃子製作所ダンダダン酒場)の展開

＜報道関係者 お問い合わせ先＞

NATTY SWANKY(ナッティースワンキー) 広報事務局

TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788 E-mail: [pr@nattyswanky.com](mailto:pr@nattyswanky.com)

担当： しばやま 柴山 (携帯:070-1389-0172)・岩尾(携帯:080-5983-2471)